

### 必要なもの

『教育実習簿』と『教育実習の手引』

同志社エンタープライズ、ローム記念館で販売。1,100 円。

「教育実習を始めるにあたって」は 5 月中旬にオリテで配布  
教科書・参考書・辞書

### 科目登録について

3 月末までに科目登録を済ましていること

まだの人はできるだけ早く教務窓口（教職）において科目登録を済ませること  
教職課程指導室（明徳館 1 階、知真館 1 号 1 階）にビデオなど資料あり

5 月中旬のオリエンテーションに必ず出席。免許・資格関係掲示板（弘風館西側）  
に掲示

### 教育実習についての注意事項

実習生を受け入れることによって、学校教育現場に負担になっていることを自覚  
憲法並びに教育基本法の理念を理解するように

自分の考えを強制しない

暴力を肯定しない

体罰禁止

生徒の秘密を漏らさない

教育実習最優先←就活とかちあったとき

実習をキャンセルしないこと

実習中にキャンセルしないこと

病気などで実習に参加できないときは速やかに実習校に連絡

実習校への教員（この場合中井）の現場指導を要求される時は、教務の免許資格係  
に連絡

実習校の名前、所在地、実習期間などを確認

実習校への通勤は既存の交通機関を利用する

必ず教員になりたいという情熱・意思を実習校に伝えること

生徒の名前は早く覚える

放課後、休日でも言動に気をつけ、繁華街はうろつかない

服装・髪型には気を付ける

控え室は清潔整頓に気を付ける。

控室で週刊誌を読んだり、昼寝をしたり、煙草をのんだりしない

実習校では指導の先生だけでなく、すべての教員・職員にあいさつをする

実習が終わった時には校長先生、教頭先生、指導の先生にお礼を言う

学内校に実習に行く人は直接実習校と接触・交渉しないこと

大学がまとめて学内校と交渉し、教務から諸君に連絡があります

学内校以外に実習に行く人は受け入れ校と直接交渉してください

できるだけ教員採用試に応募すること

実習で授業を休む時は事前に担当教員に公欠届を提出すること

公欠用紙は教務にあります

春学期に「教育総合演習A」、秋学期に「教育総合演習B」の授業を行います。

### プロの教師でも満足できる授業は年に一回あるかなしか。

諸君の若さが生徒には新鮮な魅力に映る。大学の雰囲気、空気に触れることに期待。

授業のポイントを絞り込む

話は具体的であること。抽象的な話は分かりにくい。

### その為には・・・

授業全体をイメージする

授業計画をしっかりと立てる

授業全体の流れを描く

### 授業計画表

授業のテーマをはっきりと設定する

授業に該当する教科書のページ数を書き込む

導入部

展開部

まとめ

キーワード

参考文献・資料（指導要領など）

反省

## 授業の実践

難しい話はしない

小さな声で早口で話さない

大きな声でゆっくりと

全体を見ながら授業する

ノートは片面表記に（片面は空白にしておく）

板書するときは話をしない

黒板の前をうろうろしない

板書が見やすいように窓際に立って太陽の反射を避ける

授業に緩急を付ける

板書はしっかりと

普通の教室の黒板の場合だと 4 列、5 行くらい

黒板の下の方は前の生徒の頭などで見えないので、下の方には書かない

印刷物は丁寧に説明する

生徒に渡しっぱなしになり、結局役に立たない

授業計画は一年で教科書前部を消化するように立てる

一方的な授業にならないように生徒に時々質問する

寒くなるようなダジャレも時に必要

いろいろな文献を読んで話を仕入れる

叱るのは難しい。感情を交えてはいけない。あくまでも教育の視点から叱る。

叱ると教室の空気が意気消沈して普通に授業に向けていくのに時間がかかる。

質問を受けてわからない時には、正直に次回までに調べてくると答える。

一つの授業で多くを教え込まないこと。

一つの授業で重要な事項は一つという風に絞り込む。

復習は大事である。

オタクにならない。

生徒のレベルを超えた授業をしない

生徒は均質な集団ではない。

飛びぬけてできる子から、授業に全くついて行けない子までのバラツキがある。

3 対 7 の比率

授業を特定のレベルの生徒にあわせない。全体にあわせる。